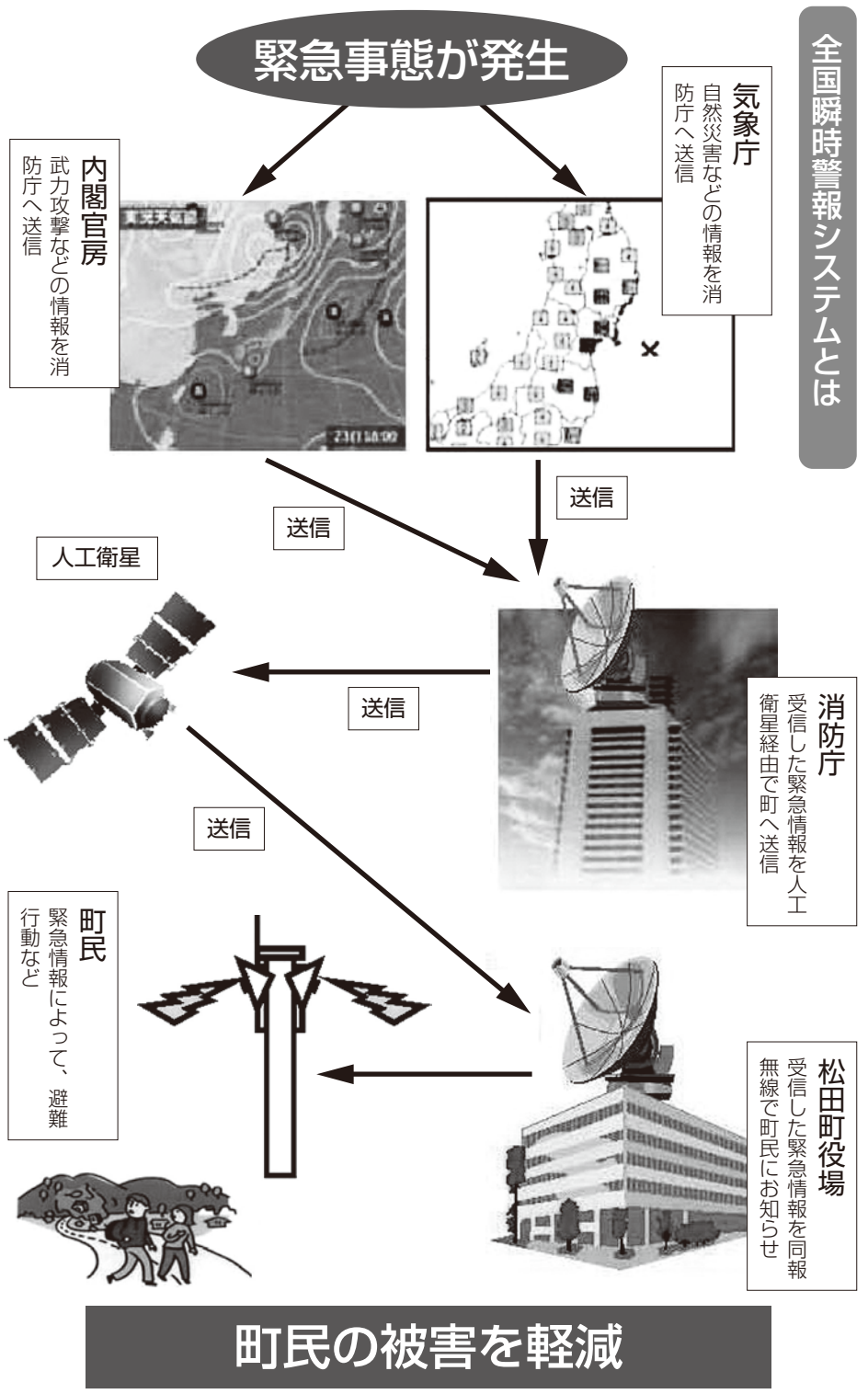
全国瞬時警報システム（J－アラート）町では4月から運用開始

全国瞬時警報システムは、衛星通信と町の同報無線を利用し、緊急情報をすぐに伝えるためのシステムです。大規模な自然災害や武力攻撃など、国の緊急情報を町民の皆さんへ同報無線でお知らせすることは、早期避難や予防につながり、被害を軽減することが期待できます。同報無線で伝えられる緊急情報には地震、大雨、洪水などの自然災害、弾道ミサイル、航空機攻撃などの武力攻撃が主なものです。このシステムは、総務省消防庁が開発や整備を進め、町では4月から、システムの運用がスタートしています。

【問合せ】庶務課防災防犯係　☎（83）1221

全国瞬時警報システムとは



◆緊急情報の種類

○緊急地震速報

震度4以上の地震が起こることを予測した場合、チャイム音（NHKチャイム音と同音）の後に内容が放送されます。

（参考例）

警告音（キュンキュン）

「大地震（おおじしん）です。大地震（おおじしん）です。」

【3回繰り返し】

○武力攻撃等情報

弾道ミサイルの発射や航空機攻撃、ゲリラや特殊部隊による攻撃や大規模テロなどの情報は、サイレンの後に内容が放送されます。

（参考例）

弾道ミサイル攻撃情報　国民保護サイレン（14秒）

「ミサイル発射情報。ミサイル発射情報。当地域に着弾する可能性があります。屋内に避難し、テレビ・ラジオをつけてください。」

【3回繰り返し】

◆緊急情報が放送されたら

防災行政無線から緊急情報が放送されたときは、あわてず身の安全を確保してください。テレビ、ラジオから情報を得るとともに、町からの情報に注意してください。

2/21 星空観察会

30名の家族連れが参加

松田町では、星空観察会を松田ライオンズクラブ、太平洋クラブ相模コースのご協力により2月21日（土）に開催しました。今年度2回目の開催となり、町内の小学校4年生から6年生とその保護者を対象に参加を募集しました。参加者は30名11組、今回は冬の星座を観察しました。

会場は、太平洋クラブ相模コースの5番ホールをお借りし、街の明かりなどが届かないように配慮しました。講師は開成小学校長の富川孝治先生、前回と同じく、説明を聞きながら天体望遠鏡や双眼鏡で星座などを観察しました。一時曇りになりましたが、子どもたちは先生に教わりながら天体望遠鏡を一生懸命に覗いていました。

この観察会は、星空が良く見えること、それには何が必要かを問いかけることも目的でした。一般的に『都会の空は、あまり星が見えない』と言われますが、特に街灯やネオンなどの人工の光が大気中の浮遊物（ちりやほこり）に当たり、散乱することが原因です。このような現象は光害と言われ、近年の経済活動が拡大していくとともに、その影響が徐々に広がってきているのが現状です。

▲冬の星座が描かれたプレートで説明する先生

光害の原因であるちりやほこりは自動車などの排気ガスなどから多く出ます。また、照明器具などの使用では、電気を消費します。電気の多くは、火力発電所で化石燃料を用いて発電することが欠かせません。このことは、多くの二酸化炭素などを発生させ、地球温暖化などに影響を及ぼします。

星空が見えにくくなることと何気ない普段の生活が関係しています。地球環境を守るために、生活のなかでの省エネは大切です。地球温暖化の防止には、皆さんの協力が必要です。

町では庁舎内の室温を夏は28℃、冬は20℃として、冷暖房施設の運転を調整しています。

星空観察会は、来年度も年2回の開催を計画しています。次回の開催は8月ごろの予定です。募集は、学校を通じて連絡しますので、ぜひ参加してみてください。

【問合せ】環境経済課環境係　☎(83)1228